

東北地方太平洋沖地震の余震について  
気象庁発表資料から抜粋

① (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月13 日09 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	マグニチュード7以上
3月13 日10 時から3日間以内	70%
3月16 日10 時から3日間以内	50%

② (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月14 日08 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	最大震度5強以上
3月14 日14 時から3日間以内	40%
3月17 日14 時から3日間以内	20%

③ (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月15 日12 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	最大震度5強以上
3月15 日15 時から3日間以内	40%
3月18 日15 時から3日間以内	20%

④ (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月16 日12 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	最大震度5強以上
3月16 日12 時から3日間以内	40%
3月19 日12 時から3日間以内	20%

⑤ (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月17 日15 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	最大震度5強以上
3月17 日15 時から3日間以内	40%
3月20 日15 時から3日間以内	20%

⑥ (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月18 日15 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	最大震度5強以上
3月18 日15 時から3日間以内	30%
3月21 日15 時から3日間以内	20%

⑦ (参考)余震発生確率 (平成23 年3 月22 日12 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	最大震度5強以上
3月22 日12 時から3日間以内	20%
3月25 日12 時から3日間以内	10%

### ①の注意書き

マグニチュード7の地震が内陸や沿岸部で発生した場合：震度6弱、ところにより震度6 強程度になると予想される\*

マグニチュード7の地震が沖合（沿岸から約100km）で発生した場合：震度4から5 弱、ところにより震度5 強程度になると予想される\*

\* 地盤の悪いところではこれよりも震度が大きくなる可能性があります。

### ②の注意書き

\* 地盤の悪いところではこれよりも震度が大きくなる可能性があります。

注 仮に余震が内陸や沿岸部で発生した場合、これよりも震度が大きくなる事があります。

余震発生確率は地震活動の活発さの目安ですが、これは現在までの余震発生状況から推定したもので、今後の活動の変化によって変わる場合があります。

なお、上記の数値はM7.0以上の余震が発生する可能性をもとに計算したものです。昨日（3月13日）の報道発表資料では、「マグニチュード7以上」と表現しておりましたが、わかりにくいとの指摘がありましたので、最大震度による表現に変更いたしました。

### ③、④、⑤、⑥、⑦の注意書き

\* 地盤の悪いところではこれよりも震度が大きくなる可能性があります。

注 仮に余震が内陸や沿岸部で発生した場合、これよりも震度が大きくなる事があります。

余震発生確率は地震活動の活発さの目安ですが、これは現在までの余震発生状況から推定したもので、今後の活動の変化によって変わる場合があります。

なお、上記の数値はM7.0以上の余震が発生する可能性をもとに計算したものです。昨日（3月13日）の報道発表資料では、「マグニチュード7以上」と表現しておりましたが、わかりにくいとの指摘がありましたので、最大震度による表現にしております。